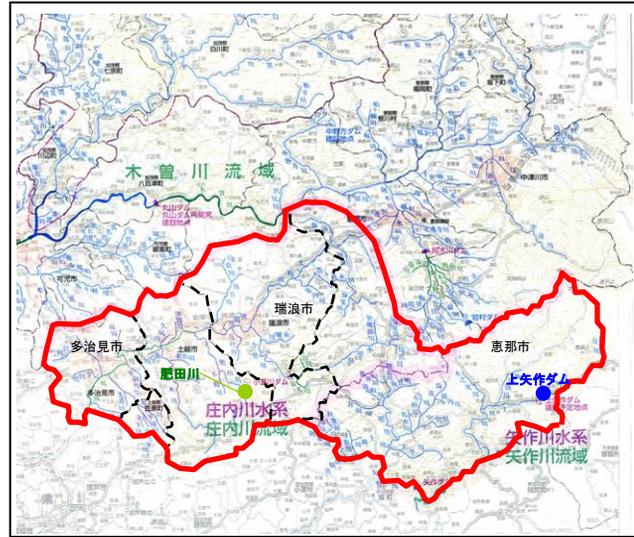


# 5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

## 4) 庄内川・矢作川圏域

### 4) - 1. 河川水害対策

庄内川については、平成11年6月梅雨前線豪雨により、瑞浪市和合や土岐市内の浸水をはじめ、土岐川沿川に大きな被害をもたらしました。この災害を契機として、岐阜県が災害復旧事業を実施するとともに、岐阜県・国土交通省において災害復旧事業等による下流部の流量増加対応として、平成11年度に創設された「河川災害復旧等関連緊急事業(復緊事業)」により、観測史上最大となった平成元年9月洪水を対象に、瑞浪市和合地区、土岐地区、多治見地区の河川整備に着手し、平成15年度に完成させました。さらに、小里川ダムが平成15年度に完成したため、治水安全度が大幅に向上しました。しかし、復緊事業では当時、内水被害を早期に軽減させる必要があったことから、主に河道掘削による水位低下対策を行っています。この為、多治見市や土岐市等の市街地においても計画高水位以下の堤防が残されていません。当面の事業の進め方としては、計画高水位以下の堤防のうち、市街地等の優先度の高い区間から築堤等の整備を行い、洪水被害の軽減を目指します。また、支川肥田川では、平成11年に床上浸水の発生した狭窄部対策を進めます。



矢作川については、洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電等を目的とした上矢作ダムの建設に向けて、実施計画調査を推進します。

#### 庄内川流域

(1級河川の主な事業を記載)

事業主体	河川名	市町村名	事業内容
県	肥田川	土岐市	用地補償 掘削護岸工等

#### 矢作川流域

事業主体	河川名	市町村名	事業内容
国	矢作川	恵那市	実施計画調査

### 4) - 2. 土砂災害対策

庄内川流域では、国事業として庄内川沿川市街地における河床上昇による氾濫被害や、各支川流域における土石流災害を防止する為、土砂流出抑制対策を推進します。

また、「土岐川グリーンベルト事業」による地域住民との連携など、ソフト対策の充実を図り、土砂災害の防止に努めます。

一方、県事業では平成12年に矢作川流域で発生した「恵南豪雨災害」など、災害の教訓から流木対策のための透過型堰堤の整備など、「災害フォロー」や「避難地関連対策」及び「災害時要援護者対策」などのハード対策を効率的且つ重点的に推進します。総合流域防災事業では、多治見市の「市之倉11丁目12丁目地区」で急傾斜地崩壊防止工事を実施します。